

《注》

- ・下記製品は、“化学物質等の危険性又は有害性等の表示又は通知等の促進に関する指針”における対象製品ではありませんので、安全データシート(SDS)の類似書式で報告します。
- ・下記情報は、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。
- ・注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
- ・ここに掲載した数値は参考値であって、保証値ではありません。

整理番号：HP

管理番号：AP-96-14

制定 2003年02月24日

改訂 2025年04月01日

1. 製品及び会社情報

会社名：タキロンシーアイ株式会社

住所：〒671-1393 兵庫県たつの市御津町苅屋 1455 番地

担当部門：網干工場 技術グループ

電話番号(緊急連絡先)：(079)-322-4190 FAX 番号：(079)-322-4195

製品名：タキメタル タキメタルL (下記品番に適用する)

品番：002L, 772L, 772LR, 778L

2. 危険有害性の要約

GHS分類：分類基準に該当しない

GHSラベル要素：該当しない

最重要危険有害性：通常使用に際しては該当しない

特定の危険有害性：芯材(ポリエチレン)は引火点(200℃)以上の温度域では燃焼する。

化学物質等の分類：人体に対する影響は知られていない。

3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区別：アルミニウム板/プラスチック低発泡板の積層板

一般名：アルミ複合板

化学特性に関する情報：

成分	含有量 ⁽¹⁾ (質量%)	構造式	CAS No.	(化審法) 官報公示 整理番号
アルミニウム	約27%	Al	7429-90-5	—
ポリエチレン	約70%	$[-CH_2-CH_2-]_n$	9002-88-4	6-1
ポリエステル樹脂系塗料	約2%	—	—	—
接着剤	約1%	—	—	—

注⁽¹⁾：厚さ3.0mm製品の計算値です。

板の厚さの構成では、アルミニウム板は約0.1mm(表面,裏面共)です。

危険有害成分：なし

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 固形物につき該当せず。
ただし、製品の機械加工・研磨などで発生した粉、粉塵などを大量に吸入した場合、直ちに空気の新鮮な場所へ移し、安静にし、速やかに医師の手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 人体への特別な影響はありませんが、必要に応じて触れた箇所を石鹸または皮膚用洗剤を使用しよく洗浄する。
- 目に入った場合 : 固形物につき該当せず。
ただし、製品の機械加工・研磨などで発生した粉、粉塵などが目に入った場合は、直ちに空気の新鮮な場所へ移し、安静にし、速やかに医師の手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 固形物につき該当せず
ただし、製品の機械加工・研磨などで発生した粉、粉塵などを飲み込んだ場合、速やかに医師の手当てを受けること。

5. 火災時の措置

- 消 火 剤 : 水、二酸化炭素、ドライケミカル、泡消火剤を使用する。
- 特定の消火方法 : ・火災の場合は不燃性のものでカバーし、乾燥砂を用い延焼を防止する。
・可燃性の物を周囲から素早く取り除く。
・熱分解、不完全燃焼により黒煙、一酸化炭素などが発生し、これらの吸入による危険が生じたりする可能性があるため、必要に応じて適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
・樹脂成分が溶融ドリップする恐れがあるので製品下端部より身体位置が上になる場所から、また風上から消火活動を行なう。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 固形物につき該当せず。
環境に対する注意事項 : 固形物につき該当せず。
除 去 方 法 : 固形物につき該当せず。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取 扱 い
- 技術的対策 : 高温で変形を生じ、常温でも経時的にクリープ変形する。
注意事項 : みだりに火気を近づけない。
製品の端部で手を切る可能性があるため、必ず保護手袋を着用する。
安全取扱い注意事項 : データなし。
- 保 管
- 技術的対策 : 3,000 kg 以上保管する場合、消防法の指定可燃物に該当しますので、保管などにあたっては、各市町村条例にしたがってください。
混触禁止物質 : 酸、アルカリ、強酸化剤、塩化物など化学物質と接触しないよう保管してください。
保 管 条 件 : ・直射日光・高温・高湿・紫外線の強い照射を避け、変質等を防ぐため、屋内で保管してください。
・横積み、下積みを避けてください。
容器包装材料 : ダンボール紙

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 作業条件によって揮発ガスが発生する可能性がありますので、局所排気装置などを使用し、また近くに手洗い、洗眼などの設備を設けるようにすること。
- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : 通常の管理は必要ないが、機械加工時等に粉・粉塵が発生する場合、下記規定値を参照する。
- | | | |
|----------|------------------------|----------------------|
| アルミニウム粉塵 | 10.0 mg/m ³ | (AOGIH TLV(1999年度版)) |
| 吸入性粉塵 | 0.50 mg/m ³ | (日本産業衛生学会(1999年度版)) |
| 総粉塵 | 2 mg/m ³ | (日本産業衛生学会(1999年度版)) |
- 保護具 : 呼吸器の保護 ; 作業条件によって、保護マスクを着用する。
 手の保護 ; 作業条件によって、保護手袋を着用する。
 目の保護 ; 作業条件によって、保護眼鏡を着用する。
 皮膚及び身体の保護 ; 作業条件によって、作業着、安全靴を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 (容器) : 板状 (ダンボール紙包装)
 (物理的状態・色・臭い) : 固体・下記のとおり・臭いなし
 002L ; シルバー, 772L ; ホワイトツヤリ, 772LR ; ホワイト(片面ツヤリ、片面ツヤケ), 778L ; ホワイト(片面ツヤリ、片面簡易塗装)
- 注 : 芯材PE低発泡板の色 ; 002L はブラック, その他はホワイト
- pH : 該当せず。
 物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲
 融点 : アルミニウム : 約645℃, ポリエチレン : 約100℃~135℃
- 引火点 : ポリエチレン : 200℃以上
 発火点 : ポリエチレン : 350℃以上
 爆発限界 : 知見なし
 密度 : 約0.80 g/cm³ (厚さ3.0mm製品)
 溶媒に対する溶解性 : 水に不溶

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 一般的な貯蔵、取り扱いにおいては安定で反応性はない。
 特定条件下で生じる危険な反応 : 知見なし
 危険有害な分解生成物 : 熱分解、不完全燃焼により黒煙、一酸化炭素などが発生する。

11. 有害性情報

- 急性毒性 : 症例なし 局所効果 : 症例なし

12. 環境影響情報

- ・残留性, 分解性, 生体蓄積性については、特に知見がない。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 「廃棄物の処理および清掃に関する法律」施行令 第6条に準拠し、焼却または150mm角以下に破砕して埋め立てる。
 その他、取り扱いおよび保管上の注意の項記載注意事項を遵守する。
- 汚染容器・包装 : 包装のダンボールは、ダンボール(紙)類として廃棄する。

14. 輸送上の注意

- 輸送に関する国際規制によるコード及び分類に関する情報 : 知見なし
- 輸送の特定の安全対策及び条件 :
- 共通 ; 取扱いおよび保管上の注意の記載事項に従う。
 - 共通 ; 取扱いおよび保管上の注意の記載事項に従う。
 - 陸上輸送 ; 各輸送に定められている輸送方法に従うこと。
 - 海上輸送 ; 船舶安全法に定めるところに従うこと。
 - 航空輸送 ; 航空安全法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

- 消 防 法 : 第9条の3 危険物の規則に関する政令第一条の12 別表第4
指定可燃物 合成樹脂類に該当
- 労働安全衛生法 : 対象外
- 毒物・劇物取締法 : 対象外
- 船舶安全法 : 対象外
- 航 空 法 : 対象外
- P R T R 法 : 対象外 (第一種及び第二種指定化学物質は、添加しておりません。)
-

16. その他の情報

注 意 :

- (1) 本データシートは、化学製品の工業的な一般的取り扱いについての最新の情報を集めたものですが、危険、有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには、十分注意して下さい。
- (2) 上記情報は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により訂正されることがあります。
- (3) 注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、本製品に他の化学物質を混合したり、特殊な取り扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策、評価を実施検討の上、ご利用下さい。
- (4) 本データシートに掲載した数値は、保証値ではありません。